

「みどりの食料システム戦略」の取組 (環境への負担を減らす取組)

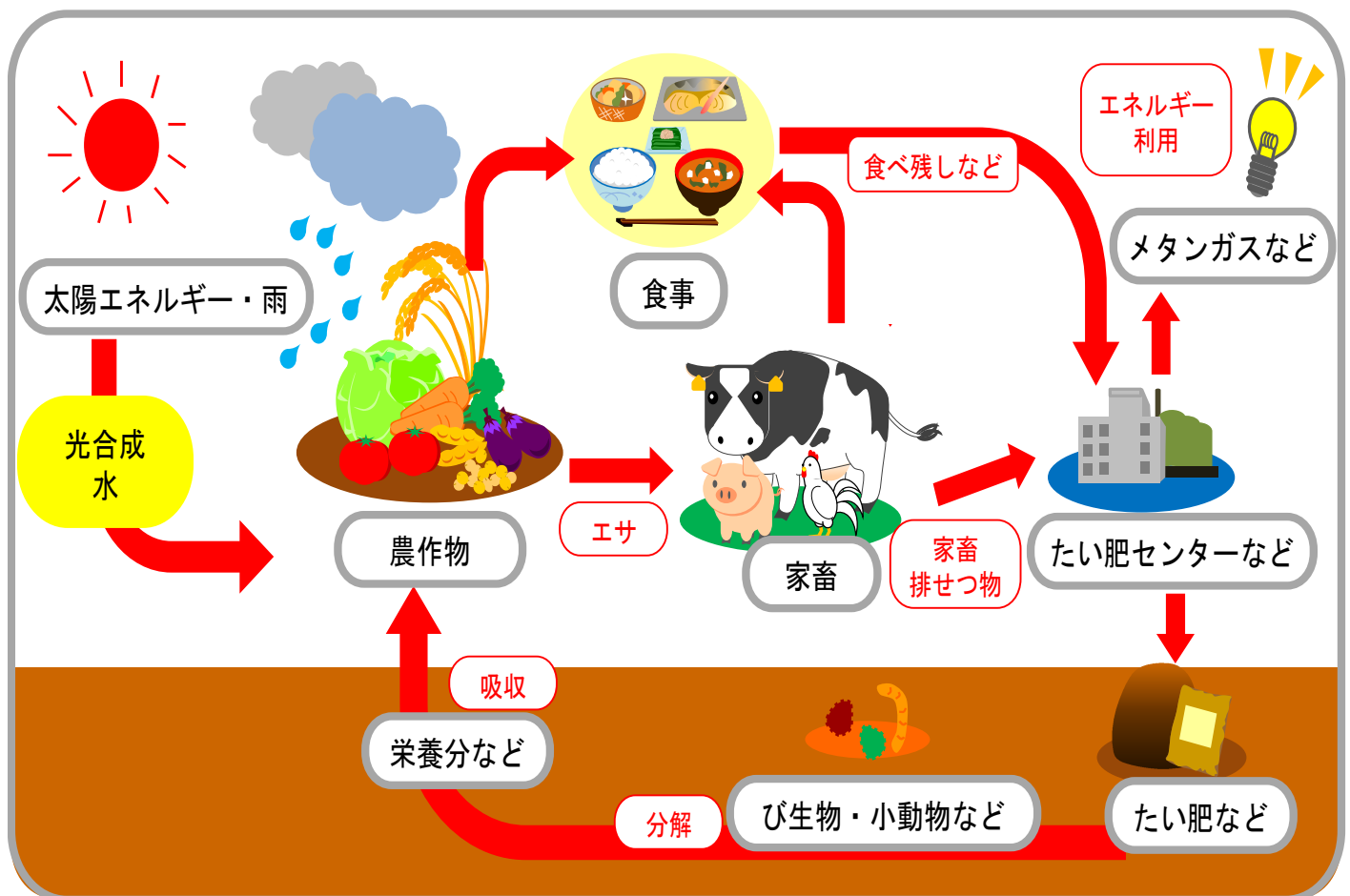


地球温暖化などの影響により、持続可能な社会の実現が問題視される中、豊かな食生活をこれからも続けていくためには、農業分野においても**環境への影響を最小限に抑えつつ**、持続可能な食料システムを実現する必要があります。日本では、「みどりの食料システム戦略」を作って、**農産物の生産に使う資材などの調達から、生産、加工・流通、消費までの取組を、環境にやさしいものに変えていこう**としています。

農林水産業の、地球の環境に与える影響



農林水産業は、さまざまな生き物の生育・生息に重要な役割を果たしています。一方で、**農業機械から排出される二酸化炭素、水田や牛のゲップから発生するメタン**などは、環境に影響し地球温暖化につながっています。



私たちの**食事の食べ残し**や**家畜排せつ物**などは、農産物を栽培するための**たい肥**や**エネルギー**などに使うことができます。

二酸化炭素など温室効果ガスを減らす取組

農林水産業を通じて排出される温室効果ガスを減らすために、新しい技術や品種の開発などが行われています。

家畜排せつ物を利用したペレット堆肥
(JA鹿児島県経済連)



田植機やトラクター、無人ヘリを活用した可変施肥



堆肥を使うことで化学肥料の使用量が減り、温室効果ガスを減らすことができます。

ドローンや衛星によるセンシング等により得られたデータを活用し、土壌や生育状況に応じて適切に肥料を散布。これにより化学肥料の使用量が減り、温室効果ガスを減らすことができます。

環境にやさしい農業の推進

日本では、環境にやさしい農業を実現するため、有機栽培、IPM栽培、特別栽培など、環境に負担をかけない農業の取組がすすめられています。

有機農産物



化学肥料や化学農薬を使用せず、堆肥などを施用し栽培した農産物

IPM栽培



天敵などを活用し病虫害の発生を抑える栽培方法（例えば、指宿市ではテントウムシで害虫を駆除しています。）



特別栽培

農林水産省新ガイドラインによる表示	
特別栽培農産物	
節減対象農薬：栽培期間中不使用	
化学肥料（窒素）：当地比〇割減	
栽培責任者	〇〇〇〇
住所	〇〇県〇〇町△△△
連絡先	TEL 〇〇-〇〇-△△
確認責任者	△△△△
住所	〇〇県〇〇町△△△
連絡先	TEL 〇〇-〇〇-△△

化学肥料・化学農薬を一定程度抑えて栽培した農産物

K-GAP認証



みどりの食料システムの実現 (未来の子供達のために)



農産物の安定生産・供給



飛んできたコウノトリやサギ（石川県内）

農政に関する情報はここから



九州農政局鹿児島県
拠点ホームページ

農林水産省
九州農政局

お問合せ先
九州農政局鹿児島県拠点地方参事官室
電話番号：099-222-5840